



⚠️ 低温で生育が停滞 ⚠️ 茎数少なく、葉色も上がっていない！浅水管理の継続で、 茎数確保！

◎ 生育概況と技術対策

平坦部「雪若丸」の生育（6月10日）

項目	調査値	指標値	指標比・差	(概況)
草丈	23.8 cm	25.3 cm	94	短い
茎数	181 本/m ²	250 本/m ²	73	少ない
葉数	6.1 枚	6.5 枚	-0.4	やや少ない
葉色(SPAD)	33.7	38	-4.3	薄い

(農業技術普及課調べ)

6月に入ってから、気温が低く推移しており、日照時間も平年より少ない日が多くなっています。その影響で、6月10日現在の生育は、指標値に比べ草丈が短く、葉数は少なく、葉数はやや少なく、葉色は淡くなっています。また、ほ場ごとに生育のバラツキが大きくなっています。

(1) 引き続き、浅水管理で分けつ促進！茎数確保！

引き続き、日中止水、夜間かんがいを徹底し、水深2～3cmの浅水管理で分けつを促しましょう。

土壌の異常還元がみられた場合は、田干しや夜間落水を行い、根圏環境の改善を図りましょう。

極端に茎数が不足している場合は、窒素成分量1kg/10a程度を補完的に施用しましょう（施用した場合は、追肥量を減肥します）。

(2) しっかり有効茎数を確保したら直ちに作溝・中干し！

「雪若丸」は、6月中（8～9葉期まで）に有効茎数（560～580本/m²）を確保することが高品質・良食味米生産と適正籾数確保のポイントです。

有効茎数を確保したほ場では、直ちに作溝・中干しを行います。

**生育に応じたきめ細かな栽培管理で、
おいしい「雪若丸」を育てましょう！**